

寺報

No.581

平成28年1月

蓮華寺
發行

御聖訓

梵音聲と申すは、仏の第一の相なり。梵音聲、一切經と成て一切衆生を利益す、其の中に法華經は釈迦如来の書き頭はして、此の御声を文字と成し給ふ。仏の御心はこの文字に備はれり。

『四条金吾殿御返事』



(解 説)

お釈迦様のお声は梵音声といい、そのお声から出た説法は、我々一切衆生を救ってくれます。その中に於ても法華經は、お釈迦様の真の心を文字として書き頭わしたものでありますから、仏の御心は、すべて法華經の文字に備わっているのです。そして、その説法の事を獅子吼といひます。それは正にライオンがほえて百獣を威圧する様に、邪悪な教えを説く者達を降伏させるからです。だから、諸經の王である法華經は獅子吼の中の第一といわれるのです。日蓮大聖人は「この仏の御心を説かれた法華經に命をかけ、獅子吼の如く声高らかにお題目を唱えよ」と教えられました。果たして我々僧侶や檀信徒は、この獅子吼の様にお題目を唱えているでしょうか。蚊のなく様な声では大聖人に申し訳が立ちません。どうか、声高らかにお題目を唱える事を、我々の今年度の目標としていきましょう。

新年のご挨拶

檀信徒の皆様、新年を迎え、心よりおめでとうと申し上げます。

今や世は二十一世紀となりましたが、今後我々の信仰生活はどのようになっていくのでしょうか。

非常に心配です。

恐らくえたいの知れない宗教も今より増えて来るでしょうし、更に宗教間での争いもますます増え続けていく事と思われまます。

しかし我々には、七百年以上の伝統が続く日蓮宗の信仰があります。

その日蓮大聖人の御教えは、今日まで全く不変であり正しいものといえるでしょう。

それは現在に至るまでの歴史が物語っています。

大聖人は『異体同心なれば万事を成じ、同体異心なれば諸事叶ふ事なし。日蓮が一類は異体同心なれば、人々少く候へども大事を成じて、一定法華経弘まりなんと覚え候』と、お題目を唱える人々は皆同じ仲間であり、異体同心の心でなければならぬと教えます。

今日は、科学万能で物が豊富な便利な世の中といわれていますが、残念ながら心の悩みにより迷っている人が如何に多い事でしょうか。

この心の貧しい人々により、毎日様々な事件や事故が起こっているのです。

この信仰を持ち、祈る事も知らずにいる人々に、お題目と霊神符の有り難さを勧める事こそが、我々の使命なのであります。

幸福は心の安定、即ち正しい信仰を持つ以外にはないのです。

どうか、蓮華寺の檀信徒の皆様は法華経・お題目で、今年をすばらしい年にして下さい。

靈断

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

『九識靈断法』にて解決、ご指導致します。

追膳は元旦より八日まで

お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』はお休みとなりますので、各自【お供え餅】を上げるかお寺にお餅を注文し上げてもらって下さい。(五百円)

寒修行に参加しましょう！

日蓮大聖人は「過去の因を知らんと欲せば、その現在の果を見よ、未来の果を知らんと欲せば、その現在の因を見よ。」と教えています。

つまり、現在の我々の苦の原因となつています過去の重罪を、何とかして今の世で消滅しなければ、未来もこの苦から決して免れる事は出来ないという事です。

現代人は、何でも自分の思うようにならないと、その責任を社会や他人のせいにしてしましますが、本当の原因は自分自身にあるのです。

したがって、これを今の代の方が自ら断ち切り、そして懺悔(反省)し、次まで絶対持ち越さないようにしていかなければならないのです。

大聖人は、それには『南無妙法蓮華経』のお題目を唱えるしか解決方法はないといいました。

どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に大きな声を出し唱題行をしましょう。

また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家内安全や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。

一月六日(水)～二月二日(火)迄二十八日間

午後七時より一時間(小本堂)

次第

- 礼拝文「謹みて礼拝し奉る」 [4ページ]
- 開経偈「無上甚深微妙の」 [6ページ]
- 読経「如来寿量品第十六」 [13ページ]
- 懺悔文「夫れ懺悔は治病の」 [47ページ]
- 御妙判「祈 禱 鈔」 [67ページ]
- 唱題行「南無妙法蓮華経」 [72ページ]
- 宝塔偈「此経難持の」 [72ページ]
- 回向文(導師が唱えます) [76ページ]
- 四誓願「誓つて南無妙法」 [76ページ]
- 三整唱「なむめう」 [77ページ]
- 弾指合掌(祈りを込めます)

④なお「寒修行」ですので、暖房は致しませんので、各自防寒の用意をして来て下さい。

また足の悪い方は、イスや安座にて結構です。
持参品…聖典・数珠・団扇太鼓(所有者のみ)

大切なお題目受持

節分会のお知らせ

二月三日(水)

午後六時より

男性大厄	数え二十五歳	平成四年生れ
	数え四十二歳	昭和五十年生れ
女性大厄	数え十 九歳	平成十年生れ
	数え三十三歳	昭和五十九年生れ
大正九年生れ		
昭和七年・十九年・三十一年・		
四十三年・五十五年生れ		
平成四年・十六年・二十八年生れ		
その他	前厄・後厄・還暦・古稀・喜寿 ・傘寿・米寿・卒寿・白寿など ・ご祈祷希望者はどなた様でも	

★厄払い・三 千 円

- ◎豆まき ◎祈願読上げ
- ◎お加持 ◎厄札 ◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

★一般祈願・千 円 (◎節分札 ◎祈願読上げ)

◎注 本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。

『位牌壇』の募集!

- *お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖様や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。
- *ご命日の時、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ、『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。
- *青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。
- *分割の場合は三年間の内に、回数をご相談下さい。
- *下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。
- *ご親戚やご友人に譲渡の場合は、必ずお寺にご連絡下さい。

『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

大本堂内部改修

浄財のお願い

さて、今般当山では大本堂の内部、特に壁の部分を中心に大改修する事を決定しました。

建立されて以来八十九年という長い歳月を経た建物ですので、今度は内部の壁が多数、破損または剥離してききました。

このままでは連鎖的に壁がはがれていく可能性があり危険ですので、今の内に下地をしっかりと補修し、塗り替えをした方が良いとのご指摘を受けました。

更に、今年の四月二十八日(木)には県内の全僧侶が参集し『立教改宗会』(日蓮宗が開かれた日)という大法要を当山で厳修しますので、日程・準備の都合上、緊急に業者に依頼する事に致しました。

しかし、大本堂は全体の面積が非常に広い為に、工事費もかなりかかります。

どうか、その旨をご理解戴きまして、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎総工費・・・一千四百五十万円

◎勸募方法・・・一口・五千円以上(随時受付中)

(注)ご寄付の方の御芳名を本堂内に奉納します。

◎工事期間・・・平成二十八年三月完成の予定

教宣部主催 『喜寿を祝う会』

開催さる

去る十一月二十八日、部員の『葛西まつゑ』さんの喜寿(七十七歳)を祝う会、合わせまして部員相互の『交流会』が【アップルパレス青森】にて開催されました。

祝賀会はまず主催者を代表しまして、『杉淵昌三』教宣部長の挨拶と葛西さんのご紹介、当山ご住職、『山本基』総代のお祝辞、そして『松尾拓爾』総代の乾杯の発声で進行されていきました。

葛西さんからは「この喜寿を励みにしまして、今後も厚い信仰心を持ってお寺の為に尽くしていきたいと思えます」との御礼の言葉が述べられました。

その後、お祝いのフラダンスや歌あり踊りありの余興に、皆時の立つのも忘れて楽しみ、大変有意義な祝賀会となりました。

どうか『葛西まつゑ』さんはこれからも元気で頑張ってください下さい。

今般は誠におめでとうございました。

伝道部からの御礼とお願い

部長 小野 正春

昨年度も檀信徒の皆様への修業として、一月六日～二月二日までの二十八日間の『寒修行』、四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』は、たくさんの方が参拝され、無事成功の内に終える事が出来ました。

その他伝道部では、「図書・カセットテープ」等の貸出もしていますので、どうぞご利用下さい。

どうか、今年も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

奉仕部からの御礼とお願い

部長 山田 兼補

昨年度は「年中行事」の他、春秋のお彼岸またお盆の「追膳」のお手伝い、「御会式の花作り」等の奉仕活動がありました。教宣部員と檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

今後部員以外の檀信徒の皆様でも、菩提寺【蓮華寺】の為に協力戴ける方は、ご遠慮せずにお手伝いをよろしくお願ひ致します。

ろしくお願ひ致します。どうか今年も頑張つて奉仕活動をお願いします。なお、今年四月二十八日（木）に青森県宗務所主催の『立教開宗会』が当山で開催されます。

教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いがあり、沢山の方々のご協力が必要です。

『教宣部』は、『奉仕部』より依頼がありますとお寺の行事を中心に奉仕活動を行います。

その他、昨年は部員の長年に渡る功労を祝して「喜寿を祝う会」、合わせまして部員同士の親睦を図る「交流会」を開催致しました。

このように、お寺はとても楽しい所です。

どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為に先祖の為に自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。お願い致します。

教宣部員募集中！

十月の行事

一日（金）元旦祝禱会 午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典（お経本）を最初から順にゆつくり読みますので、皆様も一緒に唱えましょう。

・お正月の法要はこの一回のみです。

①一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

十三日（水）日蓮大聖人のご報恩会 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）

・お経 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を一緒に唱えましょう。

『十三日のお勤め』

◎『十三日のお勤め』のお経練習用の《カセット・CD・お経本》を販売しています。

寒修行（唱題行）

一月六日（水）～二月二日（火）【二十八日間】

午後七時～午後八時迄

於：小本堂

☆奉仕のお知らせ

平成二十七年十二月

三十一日（木）元旦祝禱会のお手伝い 午後十時より

【教宣部男女共沢山】

*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながらよろしくお願ひ致します。

平成二十八年一月

三日（日）元旦祝禱会の後片付け 午前十時より

【教宣部男女共沢山】

*ちようちんや幕・幟などの後片付けです。

平成二十八年二月

三日（水）節分会のお手伝い 午後三時より

【教宣部男女共沢山】

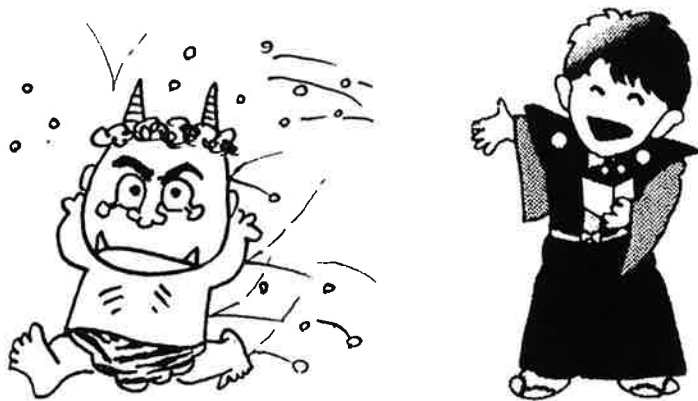
◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春
◎教宣部長・杉淵昌三

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、当日時間までお集まり下さい。

せつ ぶん え 節 分 会

二月三日(水)

午後六時より



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

* 厄払いと一般の祈願は一月十日より受け付けます。

② 豆まきを行いますのは年男・年女 (申年)、厄払い、その他
本年度ご祈祷希望者の方となります。